

地域の食文化と富士宮やきそば

食の地域おこしとは何なのか。
そしてこれからどうあるべきなのか。
富士宮やきそば学会会長渡辺英彦氏が逝去
して半年、同志であったB-1 野瀬氏と、
コナモン協会熊谷氏の2名をスペシャル
ゲストにフォーラムを開催！

令和元年 7月13日(土)
午後2時より

入場無料

会場：富士宮市駅前交流センター「きらら」集会室

第1部 特別講演会



「食は県民性では語れない」

講師：野瀬 泰申 (のせ・やすのぶ)

日本経済新聞特任編集員。「B-1 グランプリ」主催団体「ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会」(愛Bリーグ) 会長。1951年、福岡県久留米市生まれ。東京都立大学卒。1975年、日本経済新聞に入社。30年にわたって日本の食文化の伝播と分布を取材する。著書に「天ぶらにソースをかけますか?」「食は『県民性』では語れない」「食品サンプルの誕生」など。



「コナモン文化のヒーロー、焼きそばの未来」

講師：熊谷 真菜 (くまがい・まな)

食文化研究家・日本コナモン協会会長。B-1 グランプリ第1回八戸大会からすべての大会に参加。富士宮やきそば学会設立と同時期に、日本コナモン協会を立上げ、大阪の名店店主らと開発した「道頓堀やきそば」をはじめ、世界が注目するコナモン文化の普及と継承に注力する。主著は『粉もん、庶民の食文化』(朝日新聞社)。

第2部 パネルディスカッション



コーディネータ
富士宮やきそば学会
代表 渡辺 孝秀



パネラー
富士宮市文化財審議会委員
渡井 正二

パネラー
野瀬 泰申
パネラー
熊谷 真菜

富士宮やきそば学会・渡辺孝秀代表をコーディネーターに、パネラーとして富士宮が日本に誇る地域文化の名士、渡井正二先生、同じくパネラーとして、野瀬氏、熊谷氏にも第1部から引き続き登壇頂きパネルディスカッションを行います。